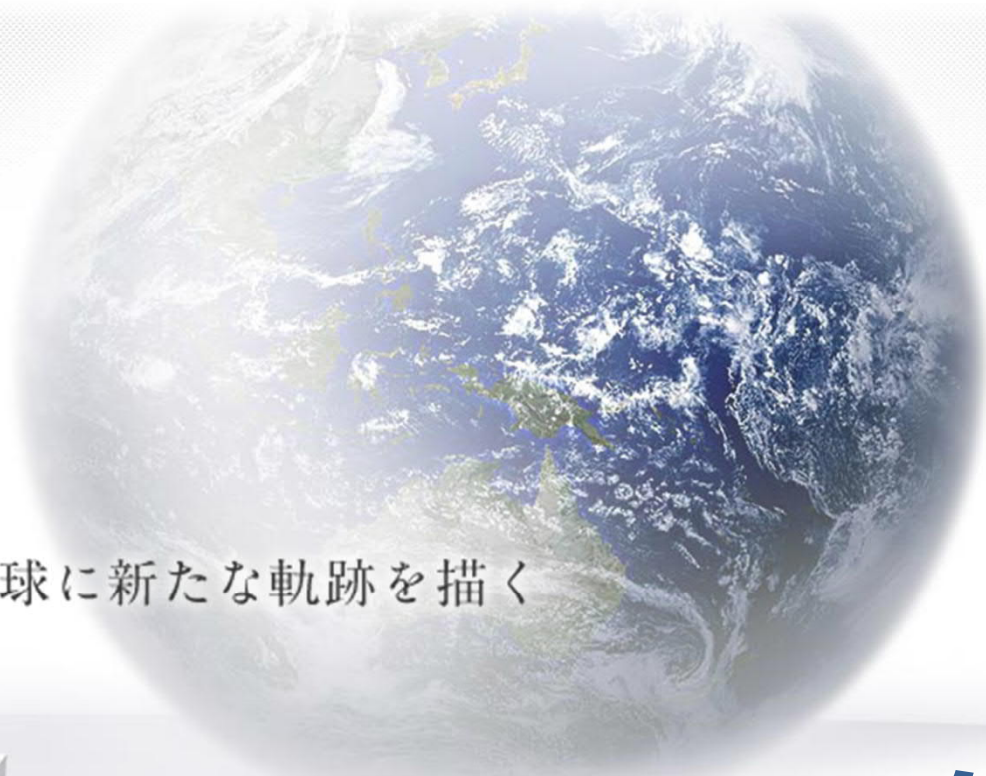


西部電機株式会社

(東証スタンダード・福証 証券コード6144)



自然随順の思想で地球に新たな軌跡を描く



2022年3月期

決算説明会

目次

◇ 会社概要	2
◇ セグメント別売上高比率	3
◇ 経営環境	4
◇ 2022年3月期 連結業績（概要）	5
◇ 2022年3月期 連結業績（推移）	7
◇ 受注高（セグメント別）推移	8
◇ 売上高（セグメント別）推移	9
◇ 営業・経常・当期純利益推移	10
◇ 営業利益増減分析	11
◇ B S（連結）	12
◇ C F 推移	13
◇ 2023年3月期 経営方針	14
◇ 2023年3月期 業績予想	15
◇ 2023年3月期 セグメント別売上高予想	16
◇ 設備投資、研究開発費、減価償却費	17
◇ 新精密工場兼事務所棟建設について	18
◇ 各事業の概況と通期見通し等	19
◇ 配当政策、株主還元に対する考え方	28
◇ 「チャレンジ280」中期経営計画	29

会社概要

(2022年3月31日現在)

商号	西部電機株式会社 Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.
証券コード	6144
上場	東証 スタンダード市場 (2006年 東証2部上場) 福証 (1986年 上場)
本社	福岡県古賀市駅東3-3-1
創業	1927年1月
資本金	26億58百万円
発行済株数	15,160千株
時価総額	216億18百万円 (2022年6月1日現在)
売上高	263億23百万円 (2022年3月期 : 連結)
従業員	568名 (連結) 511名 (単体)
グループ会社数	3社 西電興産株式会社、株式会社西部ハイテック、 西部ペイント株式会社
HPアドレス	https://www.seibudenki.co.jp/

セグメント別 売上高比率

＜ 2022年3月期 ＞

その他

2%

搬送機械事業

33%

精密機械事業

41%

産業機械事業

24%

＜ 2021年3月期 ＞

その他

2%

搬送機械事業

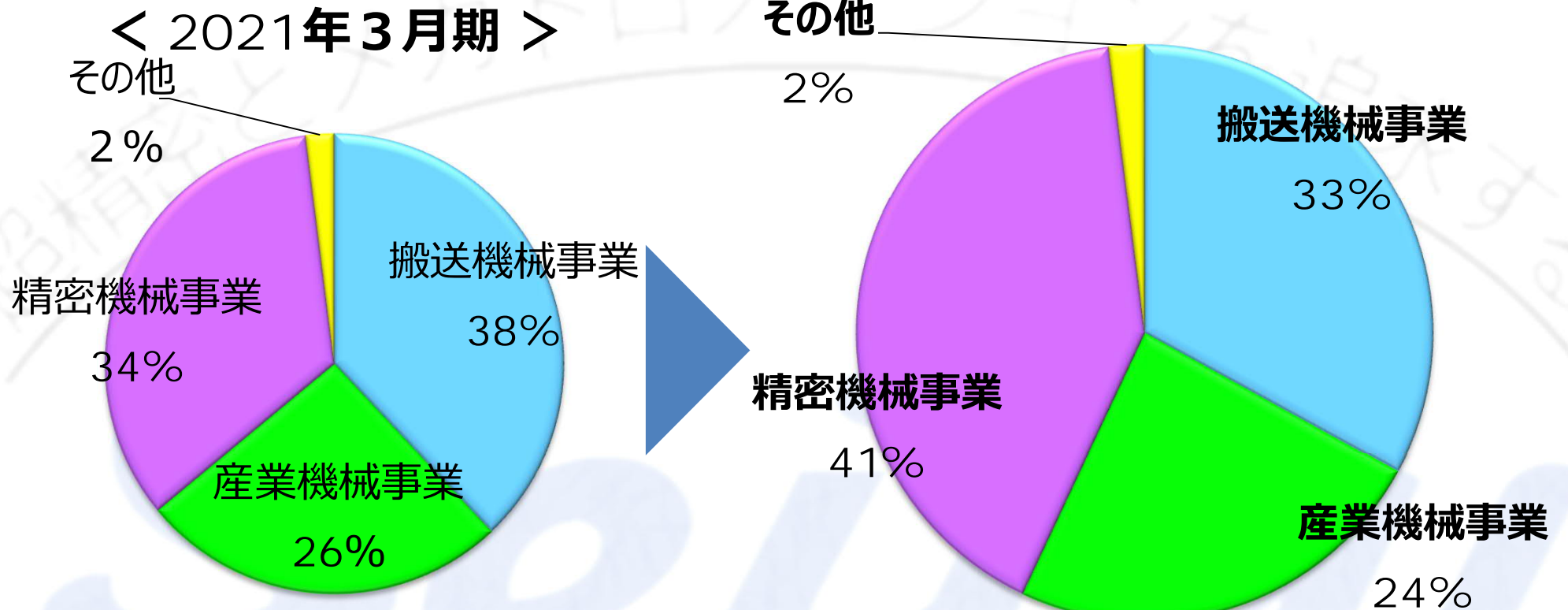
38%

精密機械事業

34%

産業機械事業

26%

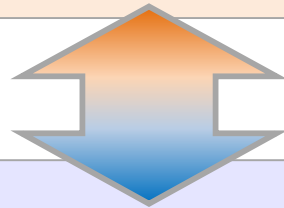


2022年3月期の経営環境

プラス要因

- 円安による輸出関連事業の伸長
- 労働力不足の深刻化に伴う省人化に対する自動化の流れ

半導体市場の拡大や積極的なニューインフラ関連投資の推進



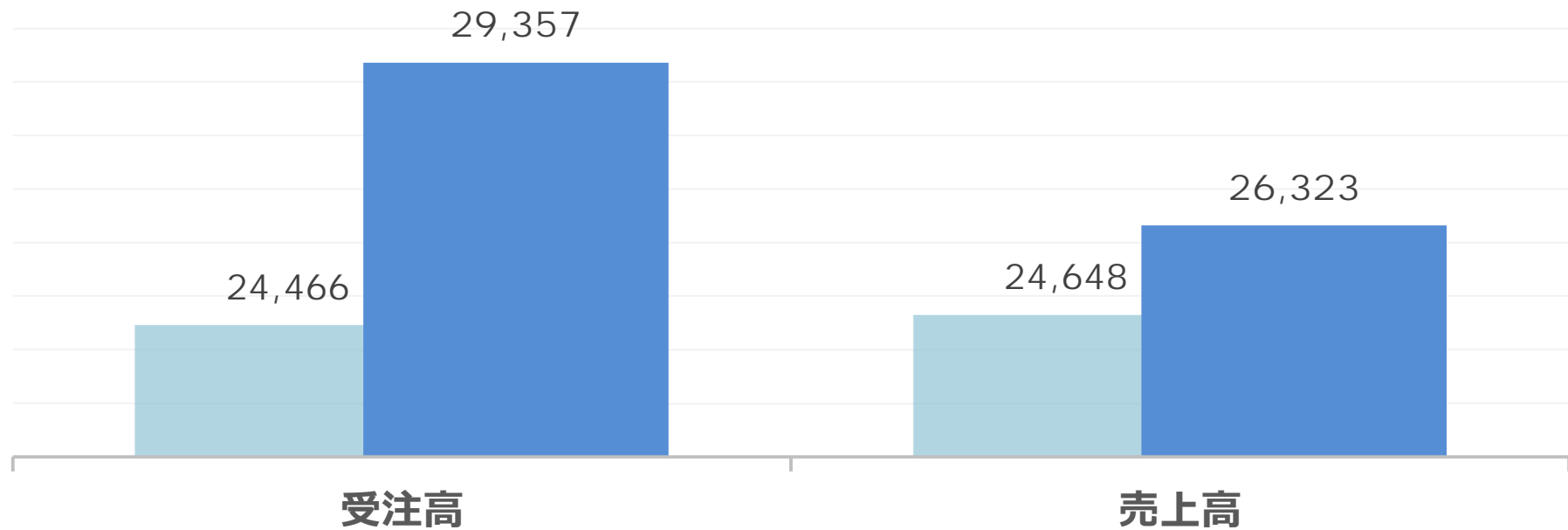
マイナス要因

- 半導体をはじめとした電子部品の供給不足による生産への影響
- 原材料価格、資源価格の高騰

諸外国の通商問題、政治・経済の不安要素
調達遅延による販売機会の損失

2022年3月期 連結業績（概要）

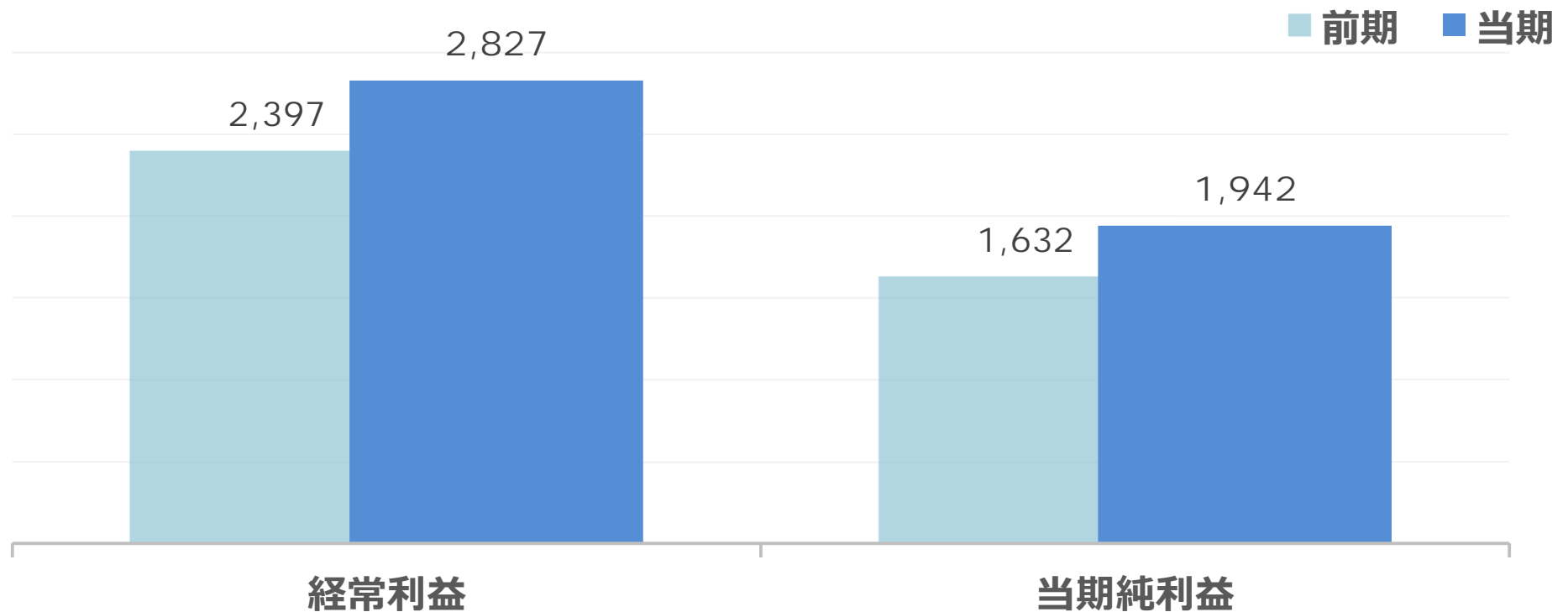
■ 前期 ■ 当期



	当 期	前期比増減
受 注 高 (百万円)	29,357	+ 20.0%
売 上 高 (百万円)	26,323	+ 6.8%

- 受注高は前期比20%増。
- 売上高は前期を上回り、19年3月期に続く過去2番目の実績。

2022年3月期 連結業績（概要）



	当 期	前期比増減
経 常 利 益 （百万円）	2,827	+17.9%
当期純利益 （百万円）	1,942	+19.0%

- 経常利益は過去2番目の実績。
- 当期純利益は前期比19%増。

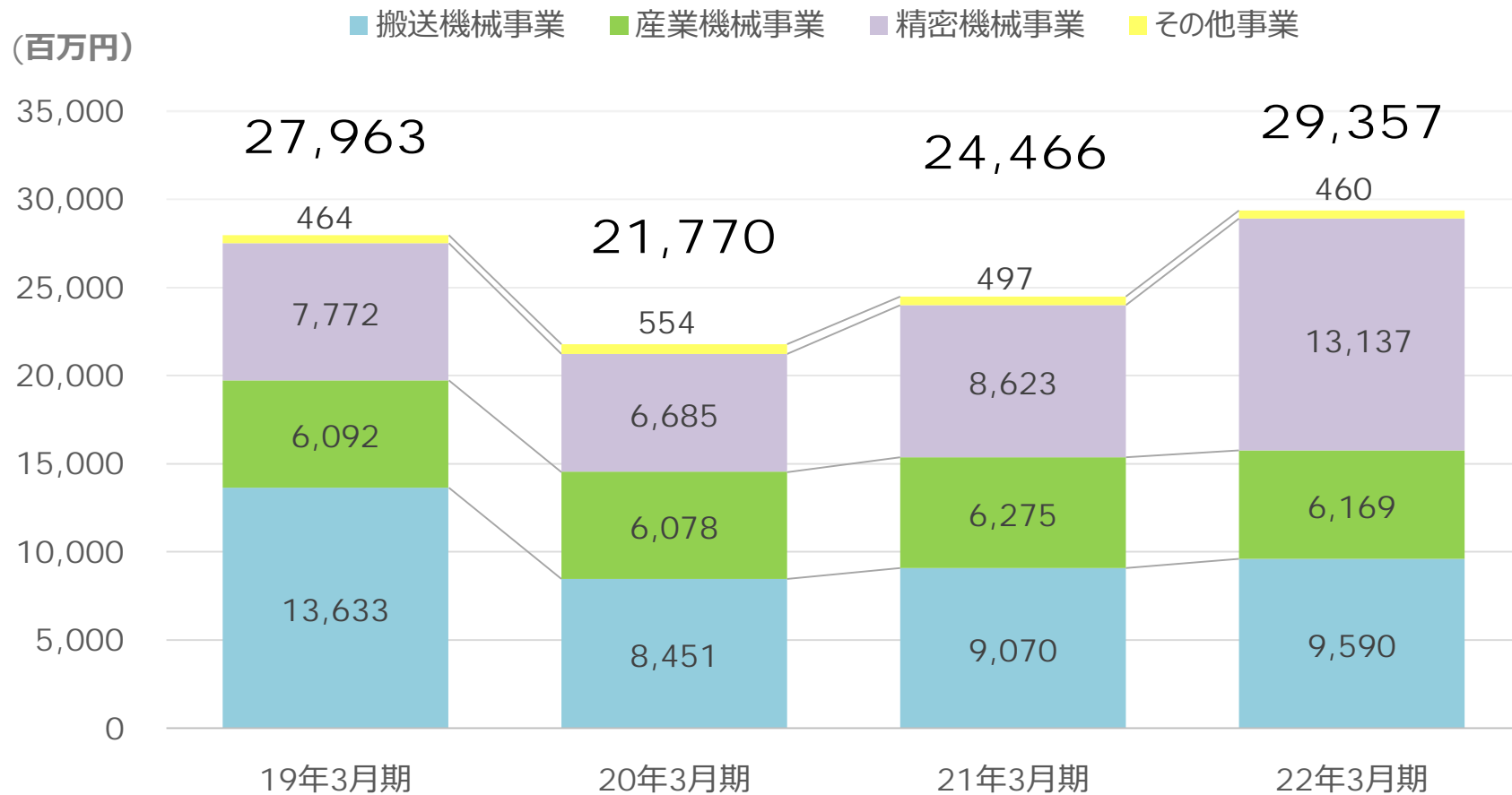
2022年3月期 連結業績 (推移)

単位(百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 期初予想	2022年3月期 実績	前年実績比 (%)	期初予想比 (%)
受注高	24,466	26,160	29,357	20.0	12.2
受注残高	8,807	10,600	11,841	34.4	11.7
売上高	24,648	24,360	26,323	6.8	8.1
売上総利益	6,700	6,560	7,644	14.1	16.5
営業利益	2,289	2,160	2,724	19.0	26.1
営業利益率(%)	9.3	8.9	10.3	1.0pt	1.4pt
経常利益	2,397	2,230	2,827	17.9	26.8
当期純利益	1,632	1,510	1,942	19.0	28.6

- 中国向け精密機械が好調に推移。
- その結果、増収・増益。期初予想を上回った。

受注高（セグメント別）推移



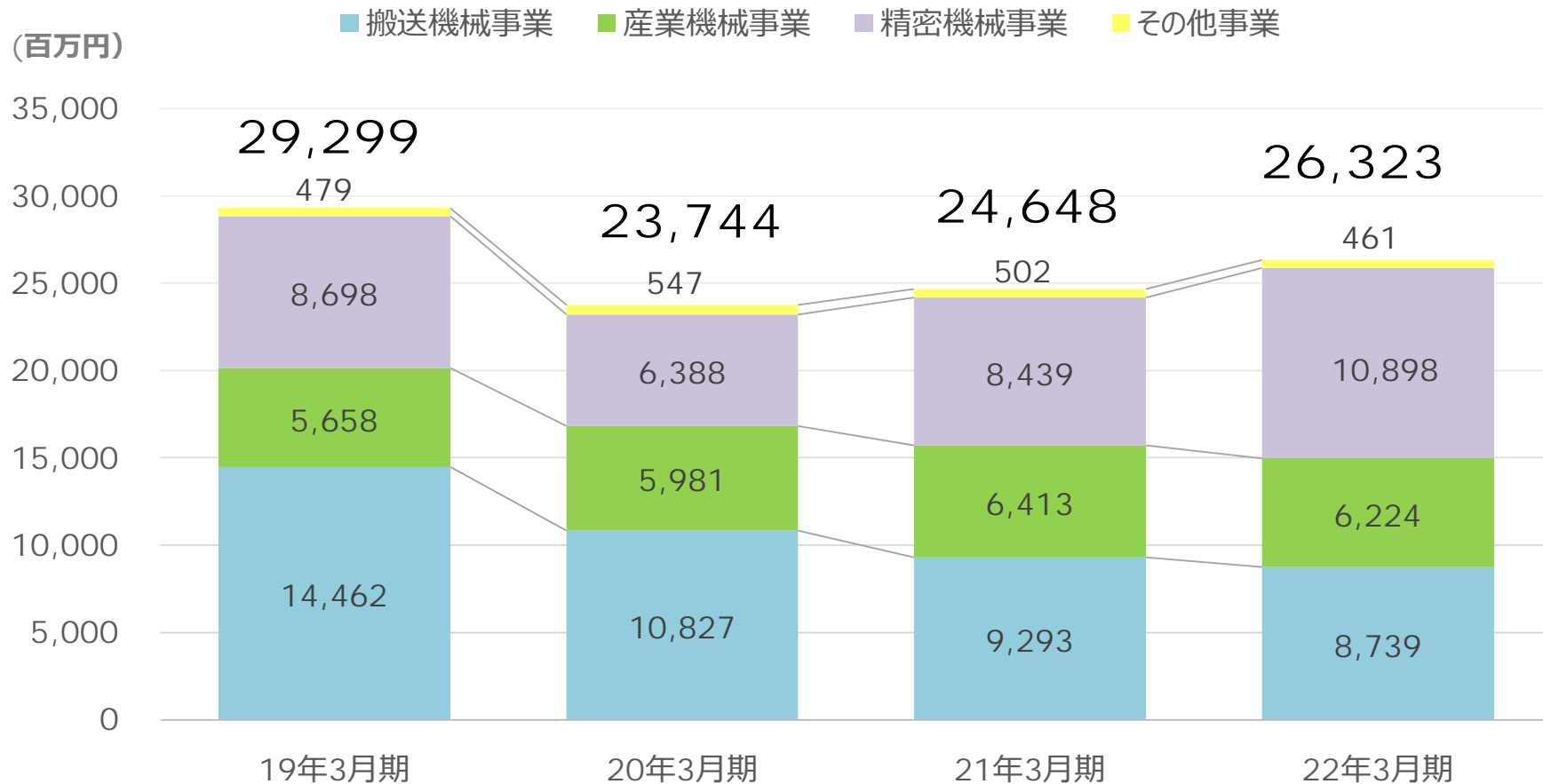
➤ 22年3月期のポイント

搬送機械事業：大口物件が減少したものの自動化物流センターの成約等があり前期比微増。

産業機械事業：民需向けやゲート分野の大型案件があったものの、サービスメンテナンス案件が前年度を下回り、前期比微減。

精密機械事業：国内は補助金効果もあり設備投資需要の回復基調が見られ、中国向けワイヤ放電加工機の輸出が堅調に推移し、前期比52.3%増（過去最高）。

売上高（セグメント別）推移



➤ 22年3月期のポイント

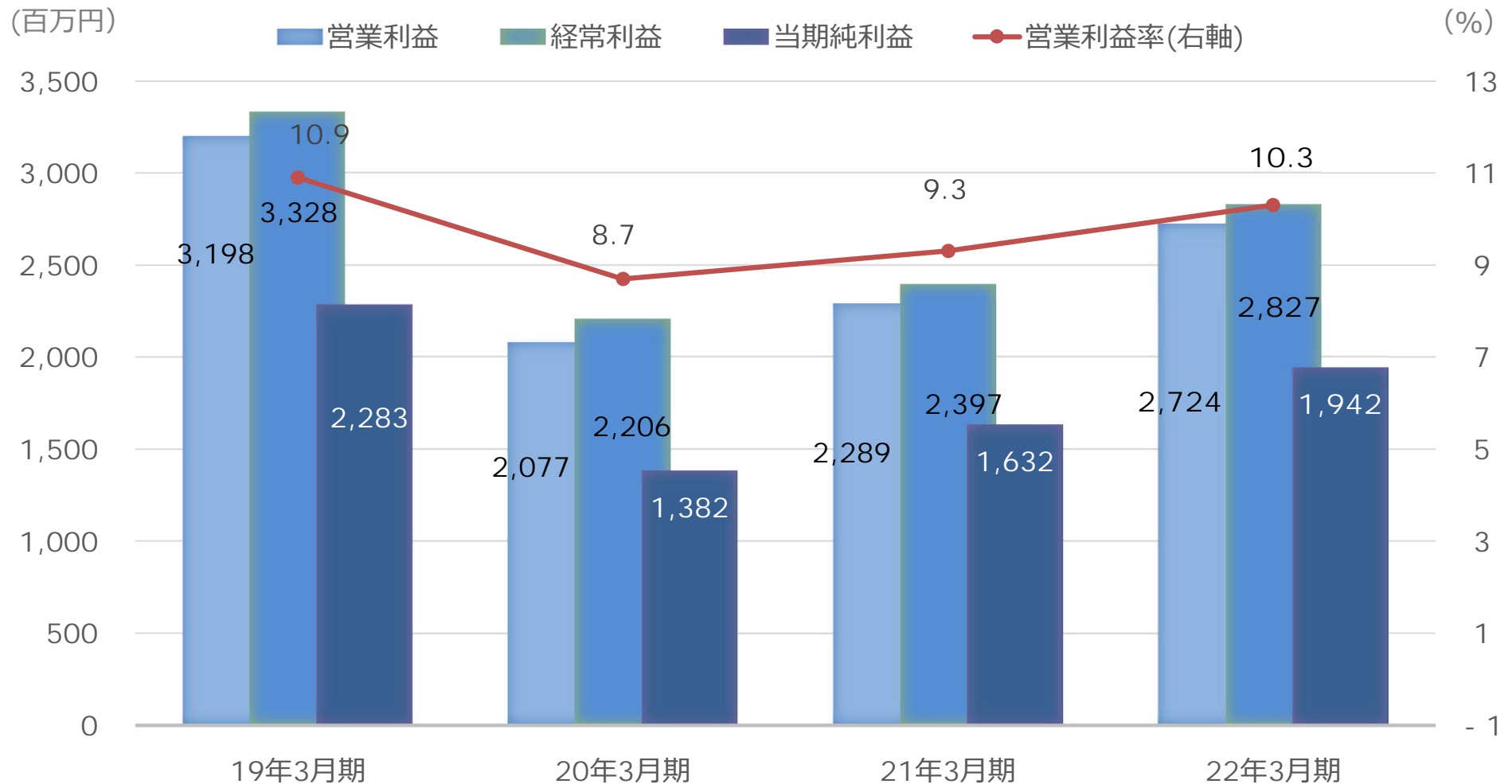
搬送機械事業：大口物件の減少が影響。前期比6.0%減。

産業機械事業：サービス・メンテナンス案件が減少。前期比2.9%減。

精密機械事業：国内は回復基調、海外は中国向け好調。前期比29.1%増。

過去2番目の売上実績 263億2千3百万円で着地。

営業・経常・親会社株主に帰属する当期純利益推移



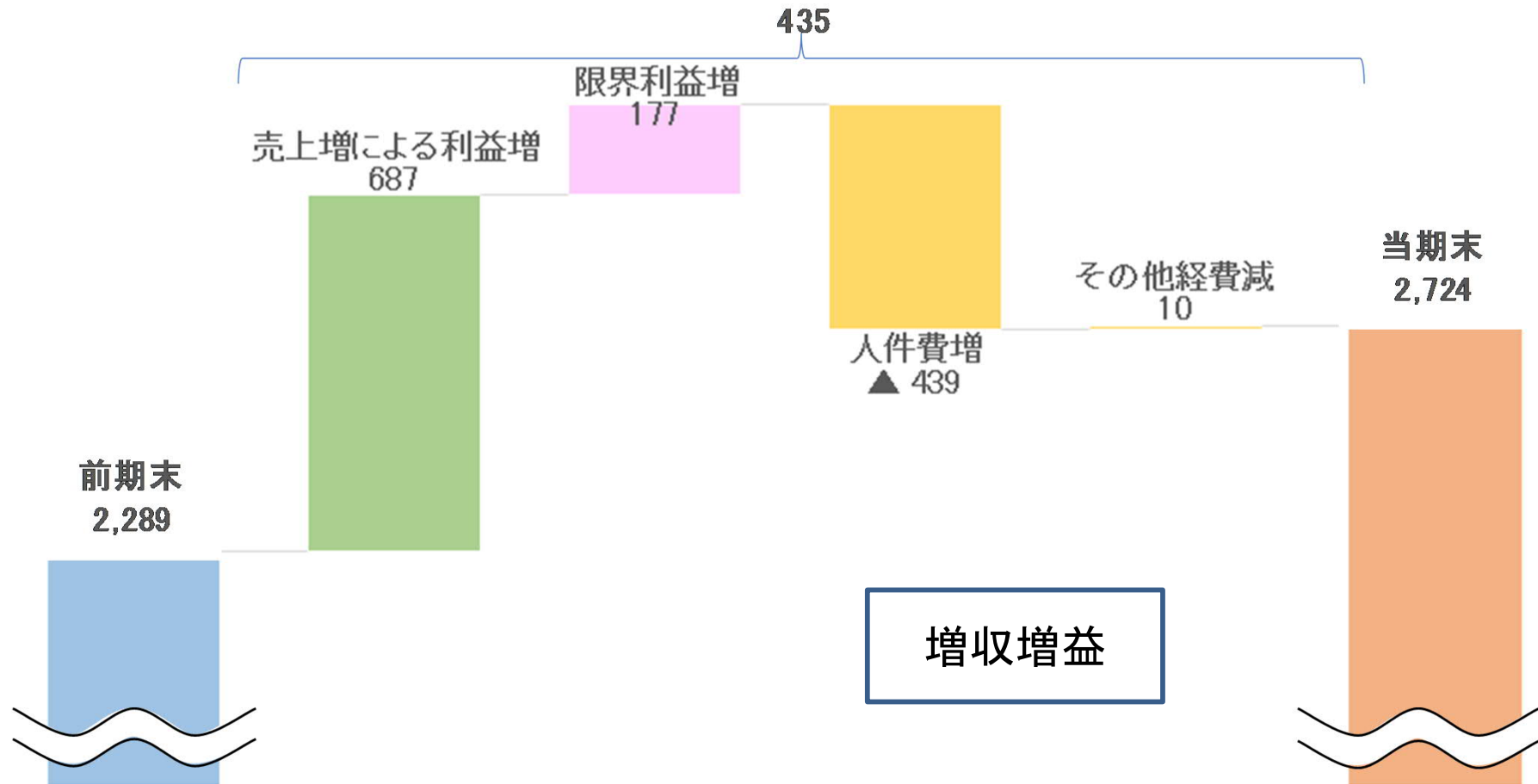
➤ 22年3月期のポイント

売上高の増加に加え、当社グループ一丸となってコストダウンと経費節減に注力した結果、各利益とも増益。

営業利益増減分析

2021年3月期実績→2022年3月期実績

(単位：百万円)



- ・ (精) の売上増による利益増
- ・ 限界利益増は、(搬) のCDが利益に貢献。 但し、部材の値上げの影響もあり (特に精密)
- ・ 人員増と賞与支給額の増加により人件費増

連結貸借対照表

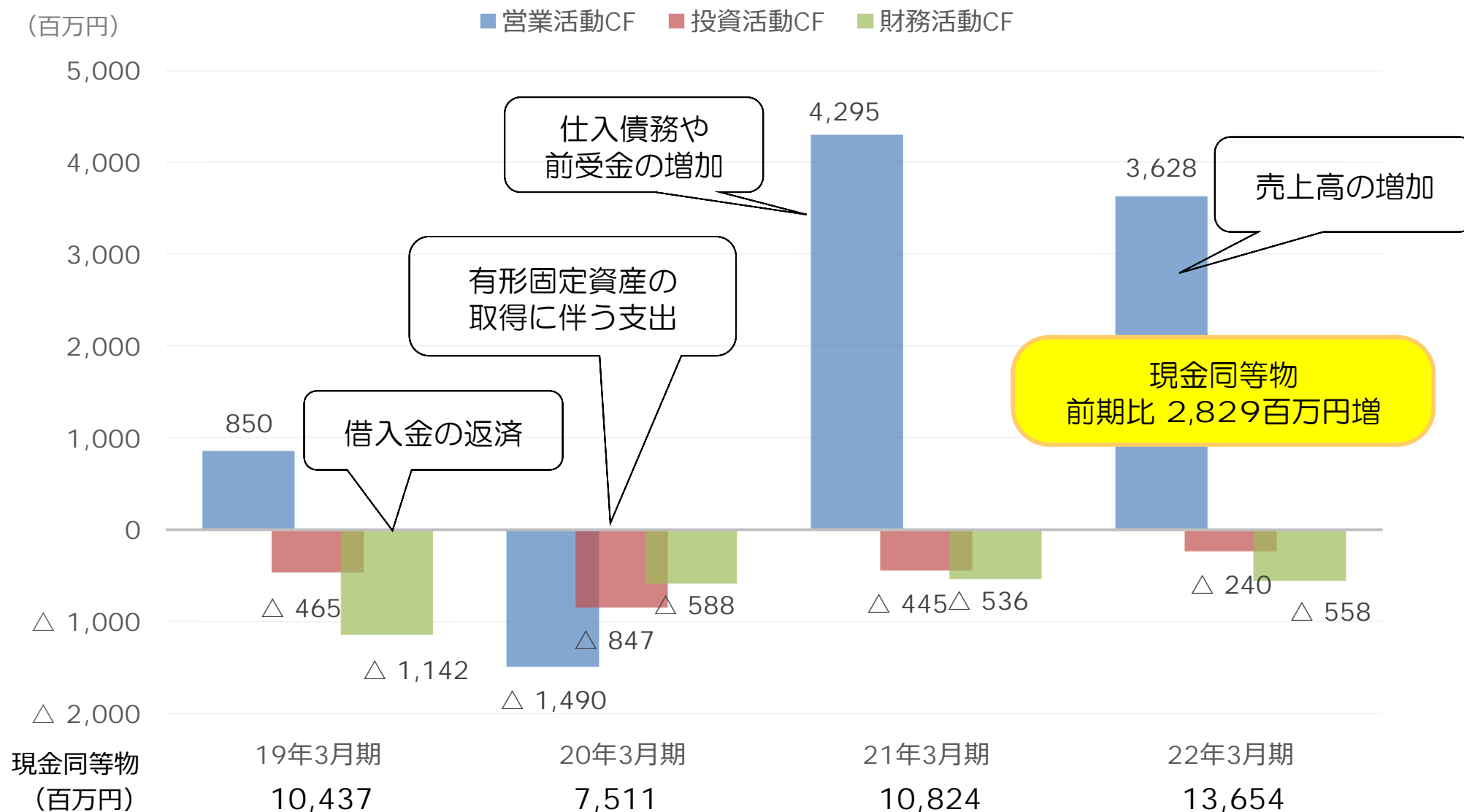
単位（百万円）

	2021/3月期 通期	2022/3月期 通期	増減	ポイント（前期比較）
流動資産	23,071	25,403	2,332	
現金及び預金	10,954	13,784	2,830	売上高の増加
売上債権	9,198	8,837	△ 361	
仕掛品	1,146	1,024	△ 122	
原材料及び貯蔵品	1,711	1,627	△ 84	
その他流動資産	60	130	70	
固定資産	16,817	17,849	1,032	投資有価証券の時価高騰による増加
総資産	39,889	43,252	3,363	
流動負債	10,320	11,871	1,551	
仕入債務	6,464	7,540	1,076	仕入量の増加や設備の購入
その他流動負債	3,856	4,331	475	
固定負債	4,048	4,061	13	
純資産	25,519	27,319	1,800	当期純利益が増加
負債及び純資産	39,889	43,252	3,363	
（自己資本比率）	64.0	63.2	△0.8pt	

➤ 22年3月期のポイント

- ①現金及び預金（2,830百万円の増加）：売上高の増加。
- ②固定資産（1,032百万円の増加）：投資有価証券の時価高騰による増加。
- ③流動負債（1,551百万円の増加）：仕入量の増加や設備の購入。
- ④純資産（1,800百万円の増加）：当期純利益が増加。

キャッシュフロー推移



➤ 22年3月期のポイント

売上が増加したほか仕入債務の増加により、営業活動によるCFが大幅に増加し、現金及び現金同等物が増加。

2023年3月期 経営方針

2021年度から2023年度までの中期経営計画
『チャレンジ280』の2年目

2022度経営スローガン

新たな変革にスピードを意識し
果敢に挑戦して行こう

重点施策

受注の確保

コストの削減

品質の向上

2023年3月期 業績予想

単位 (百万円)

	2022年 3月期実績	2023年3月期予想			
		上期	通期	前期比	
				増減額	増減率 (%)
受注高	29,357	15,100	31,810	2,453	8.4
受注残高	11,841	15,040	15,310	3,469	29.3
売上高	26,323	11,900	28,340	2,017	7.7
売上総利益	7,644	3,180	7,720	76	1.0
営業利益	2,724	750	2,800	76	2.8
営業利益率 (%)	10.3%	6.3%	9.9%	△ 0.4pt	—
経常利益	2,827	780	2,870	43	1.5
当期純利益	1,942	520	1,945	3	0.1
1株当たり純利益 (円)	128.69	34.45	128.84	0.15	—

➤ 23年3月期のポイント

- 受注高は、好調な中国向け精密機械と底堅い搬送機械の自動化需要を取り込む。
- 売上高は、中期経営計画の2年目の目標270億円超を目指す。
- 経常利益は、6年連続20億円超、当期純利益は6年連続の10億円超を目指す。

2023年3月期 セグメント別 売上高予想

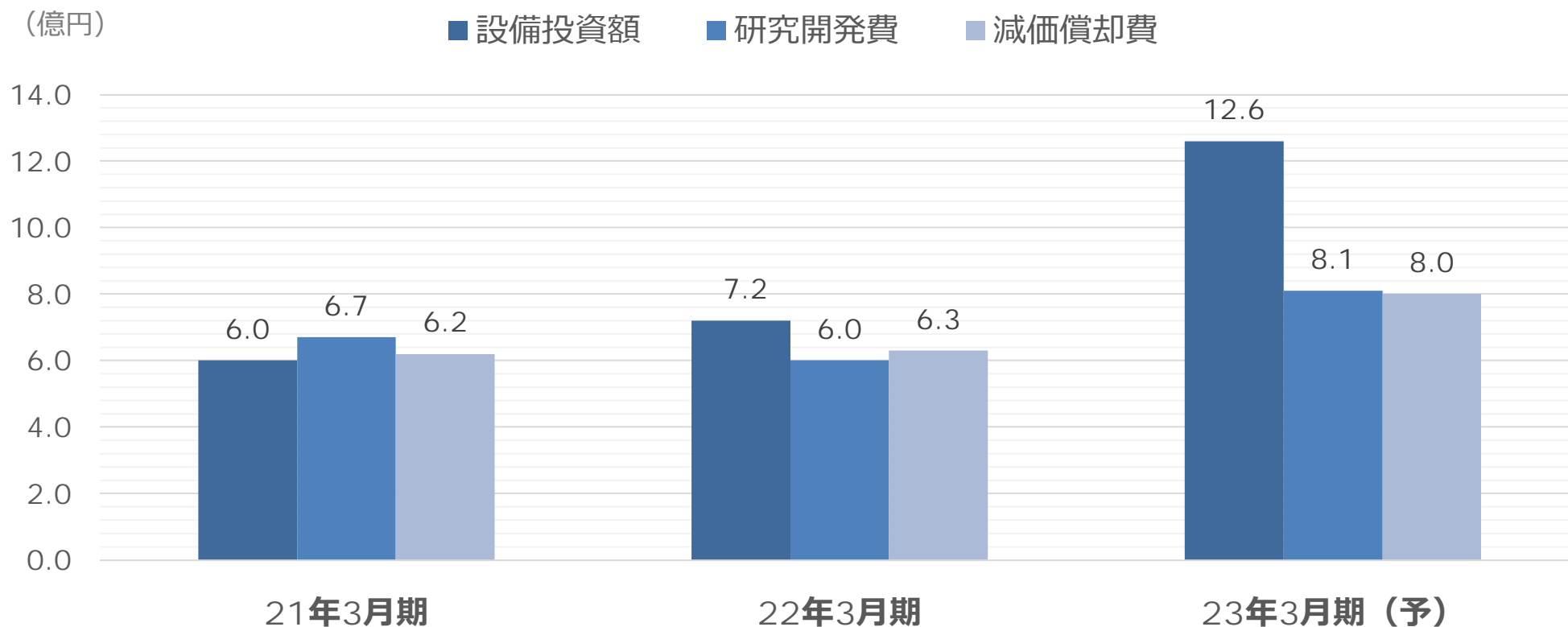
単位（百万円）

	2022年3月期 実績	2023年3月期予想			
		上期	通期	前期比	
				増減額	増減率（%）
搬送機械事業	8,739	3,950	9,900	1,161	13.3
産業機械事業	6,224	1,970	6,400	176	2.8
精密機械事業	10,898	5,750	11,540	642	5.9
その他事業	461	230	500	39	8.5
合計	26,323	11,900	28,340	2,017	7.7

➤ 23年3月期のポイント

- 搬送機械事業 : サービス体制の強化と新規顧客の開拓。
- 産業機械事業 : 民需・ゲート市場でのシェアアップとサービス強化。
- 精密機械事業 : 新規顧客の獲得と海外市場でのシェアアップ。

設備投資、研究開発費、減価償却費



【設備投資額】

- 22年3月期は、新機種開発に向けた高精度測定器の導入と生産設備の老朽化更新。
- 23年3月期は、新工場の建設や、積極的な生産設備の老朽化更新と増設を計画。

【研究開発費】

- 市場や顧客にターゲットを絞った研究開発。
- 中長期を見据えた開発計画の推進。

【減価償却費】

- 減価償却費は、積極的な設備投資に伴い増加の見込み。

新精密工場兼事務所棟建設について

■ 新精密工場兼事務所棟建設の目的

中国におけるスマートフォン、電子部品及び電気自動車関連の生産急増および半導体市場の急激な成長を背景に、当社製品に対する需要も高い水準で推移し続けている。

現状の対応能力以上の受注が続いているため、高まる製品需要に対して今後も的確に対応していくため、新工場の建設によって生産能力を現状比で1.5倍に高め、事業の競争力強化を図る。

■ 新精密工場兼事務所棟の概要

- (1) 名称：新精密工場兼事務所棟
- (2) 所在地：福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
(本社工場敷地内)
- (3) 構造：鉄骨造(準耐火構造)
- (4) 規模：地上3階
延床面積 11,785.00㎡(3,564坪)
建築面積 6,170.00㎡(1,866坪)
- (5) 着工予定：2022年12月(2024年9月竣工予定)
- (6) 投資金額：約50億円



新精密工場兼事務所棟 外観イメージ

搬送機械事業の概況

主要商品

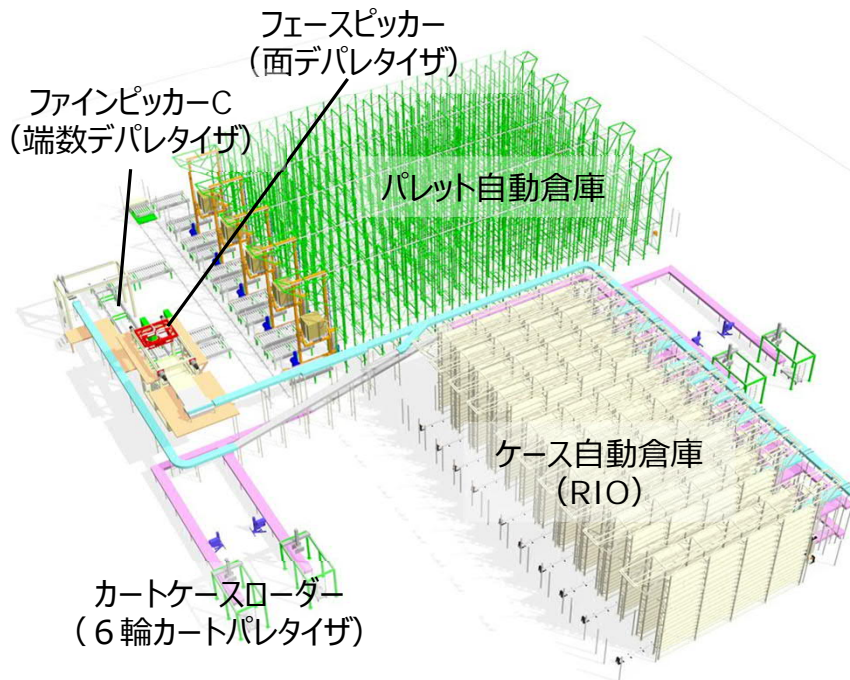
立体自動倉庫
F Aシステム
ケース自動ピッキングシステム
搬送・ハンドリングシステム
ロボティクスマテハン

事業の特徴

自社開発・販売
オンリーワン商品
24時間対応サービス体制
優れたソフト開発力

シェア（推定値）

立体自動倉庫市場	20%
自動ピッキングシステム （高速分野）	10%
無人加工システム市場	40%



コンビニエンス向け
飲料自動ピッキングシステム

主な納入先業界

< 業界 >
食品
運輸・倉庫・卸
医薬 / 化学
機械
電気機器
その他

搬送機械事業

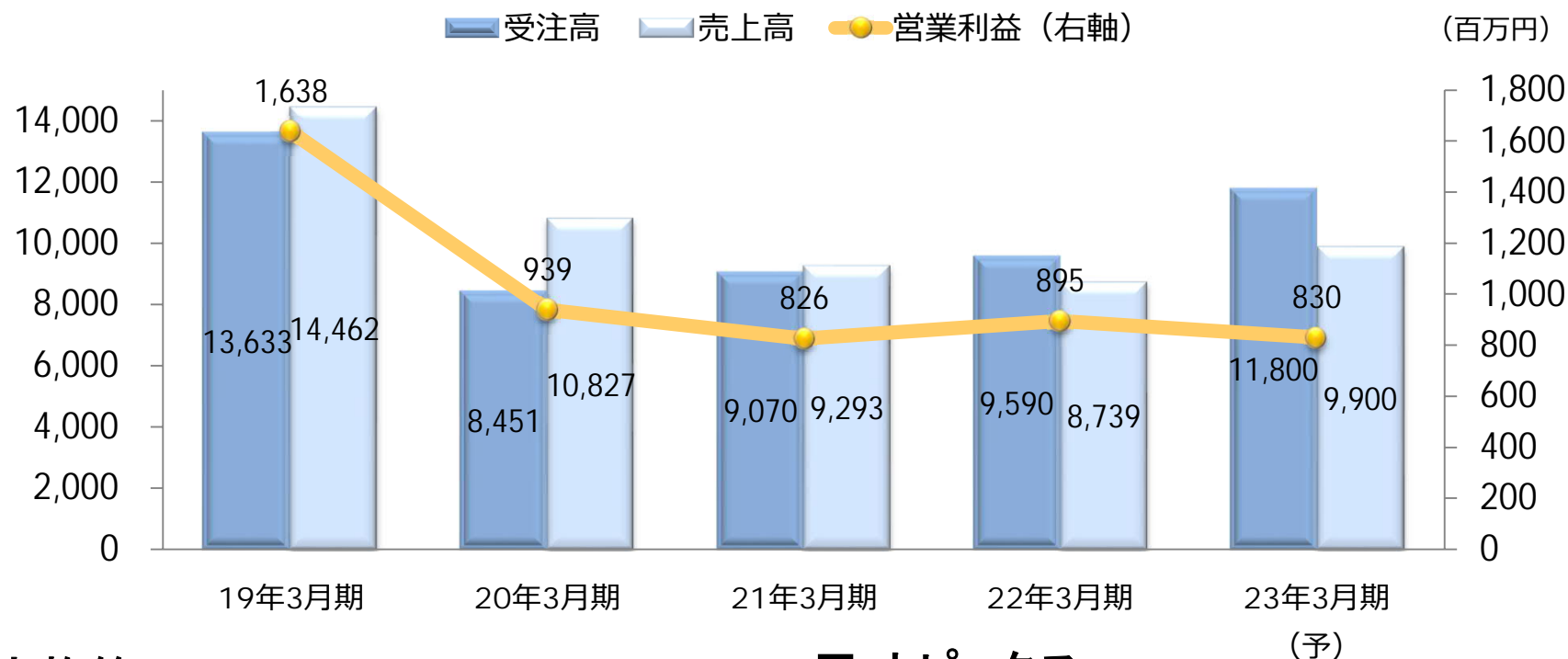
2023年3月期の基本方針

1. 従来型自動倉庫
の採算性向上と
新市場開拓

3. 提案型サービス
による拡販と
コールセンター
の充実

2. ロボティクス・
マテハンの開発
並びに拡販

搬送機械事業 通期見通し



重点施策

- 顧客の課題解決型『トータルソリューションシステム』の提案、開発、製造・販売。
- 『ロボティクス・マテハン』の開発、製造・販売。
- 流通・食品・電池・薬粧・機械の各業界を重点に拡販。
- (株)豊田自動織機殿との機種統合による標準自動倉庫のOEM供給。
- 国内外（中国）向けサービスメンテ事業の強化。

トピックス

『カゴ車デパレ装置とカートケースローダー』

センター内における入荷から出荷に至る一連の物流フローを具現化し、カゴ車に積まれた混載ケースを自動でデパレタイズする、新たな開発機「カゴ車デパレ装置」と、多種のケースを6輪カートへ自動で積み付ける「カートケースローダー」を組み合わせました。

この機種は、一般的なロボットと比べて「50%省スペース」「低コスト」「安全性」を実現した点が最大の特徴であり、市場競争力の高いシステムとなっています。



産業機械事業の概況

▣主要商品

バルブアクチュエータ
ゲート駆動装置
バルブ制御システム

▣事業の特徴

高い市場占有率
納入実績70万台
サービス・メンテナンス網の充実
(全国をカバー)

▣シェア（推定値）

上下水道	70%
電力・鉄鋼	20%
河川・ダム	40%



ゲート駆動装置
(大型チェーン式)



(バルブアクチュエータ)
Semflex®シリーズ

▣ 主な納入先業界

< 業 界 >

官庁関係 (厚生労働省・国土交通省・
防衛省・各地方自治体 他)

バルブ・ゲートメーカー 各社

電機・重工・造船 各社

その他

産業機械事業

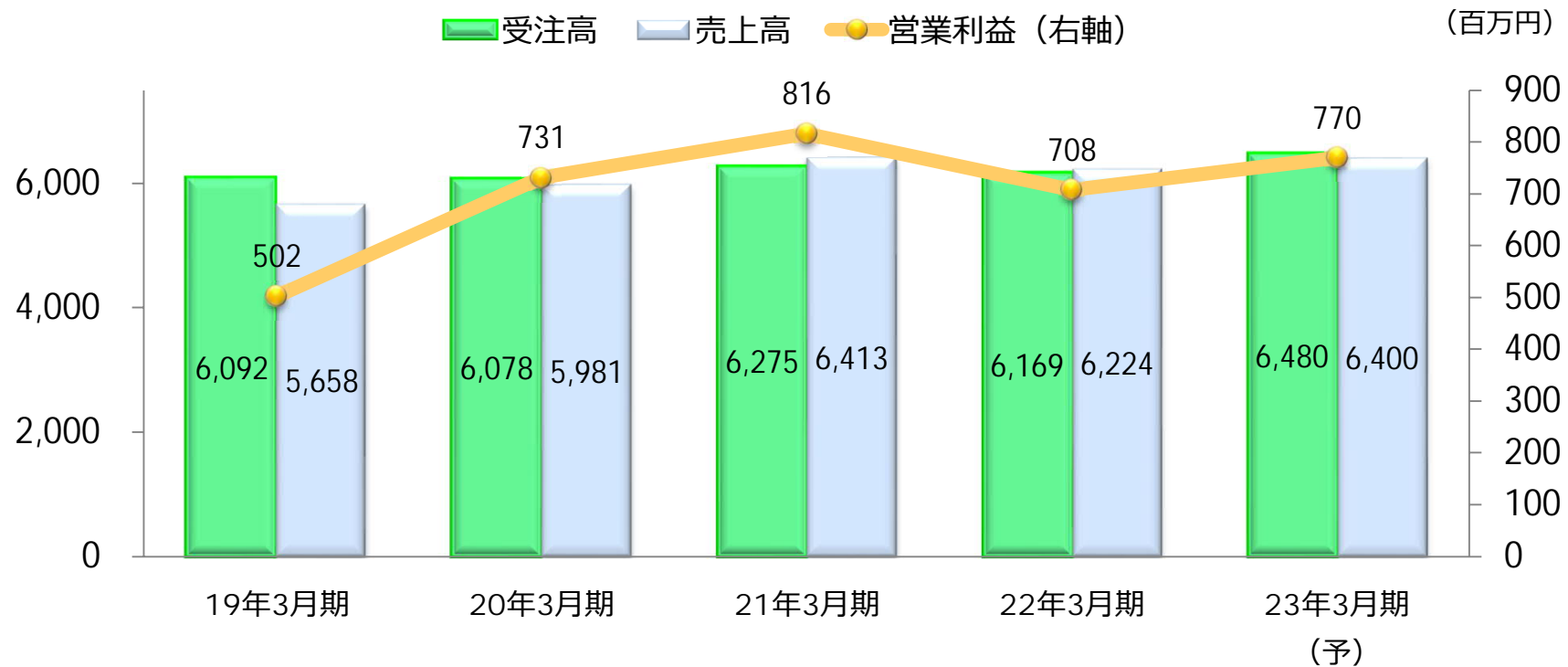
2023年3月期の基本方針

1. メンテプランの
提案強化により
ME事業の
受注拡大

3. 海外生産工場
立ち上げと共に
海外市場に適合した
製品を開発し
市場展開・拡販

2. 災害対策商品を
民需・ゲート市場
へ展開

産業機械事業 通期見通し



重点施策

- 鉄鋼などの民間企業をターゲットに提案型新システムの拡販。
- 国内火力発電所の新規案件の受注獲得。
- 造船・ガス分野にVMMで新規参入及び載せ替え案件の受注獲得。
- 大型ゲート物件のコストダウンと拡販。
- メンテナンス受注の獲得。
- タイ市場の拡張。現地生産の充実と整備。

トピックス

『民需／海外 拡販機種「Semflex-VMM-Z」開発』

市場の変革、イノベーションに対応するためSemflexシリーズの開発販売を行い、製鉄所・艦船・ガス・化学・海外市場で成果を上げてまいりましたが、更なる市場拡販を図る為、汎用機種「Semflex-VMM-Z（インテグ



ラル) タイプ」の開発及びラインナップ (Type-01/04/07/1) を完了しました。Semflexシリーズのラインナップ強化や海外規格への対応により新市場を開拓し、更なる拡販、事業発展に貢献致します。

精密機械事業の概況

主要商品

【放電加工機】

超精密・高精度ワイヤ放電加工機
超精密ワイヤ放電加工機（油仕様）

【工作機械】

高精度小形NC旋盤
自由形状内面研削盤

事業の特徴

【放電加工機】

業界No.1 評価のワイヤ自動供給装置
金型業界No.1 のピッチ精度・加工安定性

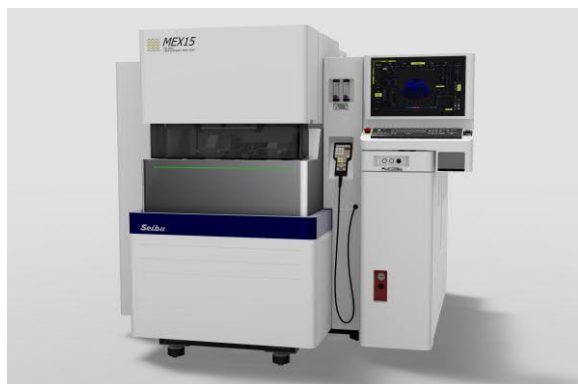
【工作機械】

抜群の寸法安定性
金型等への市場拡大

シェア（推定値）

放電加工機 : 35% 国内生産分)

工作機械 : 高精度対象商品



(放電加工機) MEX15



(工作機械) SFG-35UP

主な納入先業界

< 業界 >

精密金型 他

自動車・航空機

電子・電機

光学

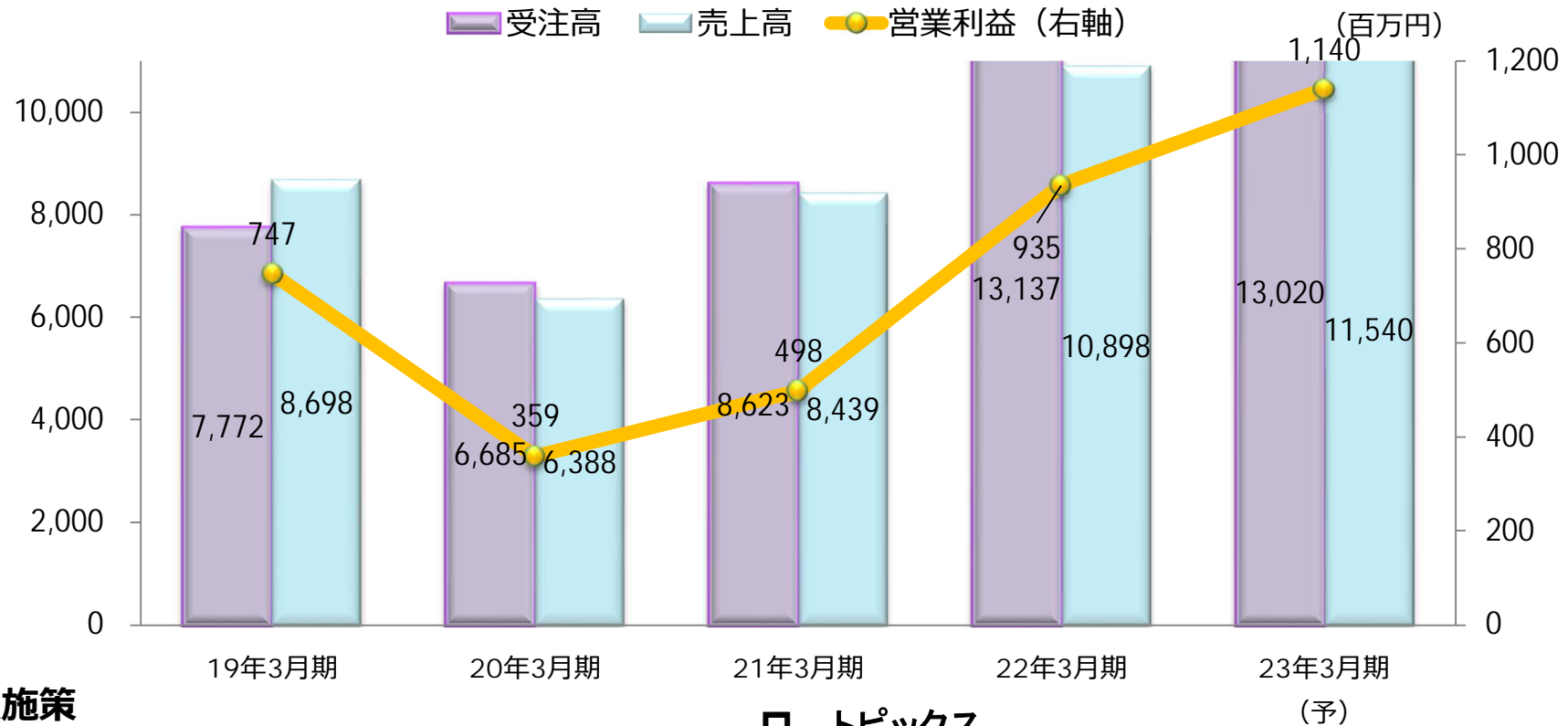
その他

1. 地域別の販売戦略
を展開し
中国一極からの
脱却を目指す

3. 保守、技術
サポートを充実させ
販売店との強化を
図り
当社のブランド力と
知名度をアップ

2. ターゲット分野
(半導体・EV・
医療・鍛造金型)に
向けた新製品開発、
新システム開発の
スピードアップ

精密機械事業部 通期見通し



重点施策

【放電加工機】

- 大型高精度加工機『Super MM80B』の拡販。
- プレート加工に特化した超精密加工機のラインアップ完成。
- ラインアップの拡張。高精度・超精密をアピールし海外市場獲得。

重点施策

【工作機械】

- 金型業界へ高精度複合研削盤として、SFGシリーズを国内外に拡販。
- 高生産性の客先のご評価を基に、自動車及び航空機の高精度部品加工機として拡販。

トピックス

高精度自由形状内面研削盤「SFG-28」のモデルチェンジ

SFGシリーズとして、「SFG-35」とのデザイン統一を行い、好評だった2面開口カバと、マルチタッチ対応の21.5インチディスプレイを搭載した

SmartNCを採用し、大幅に操作性と機能が向上しました。SmartNCにおいては、対話式プログラム作成機能や測定プログラム機能に加えて、新たにDXFデータからプログラムを自動的に作成する機能（特許申請中）を搭載しました。今後は需要が増加しているレンズ金型業界や、自動車部品など小物精密金型業界を中心に、拡販に取り組んでまいります。



株主還元に対する考え方

■ 配当政策

株主還元につきましては、経営の重要課題の1つとして認識しております。配当政策については、安定的配当を基本としつつ、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期計画、財務状況、収益性を考慮しながら、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

1 株当たりの配当金実績と予想（2022年5月13日現在）

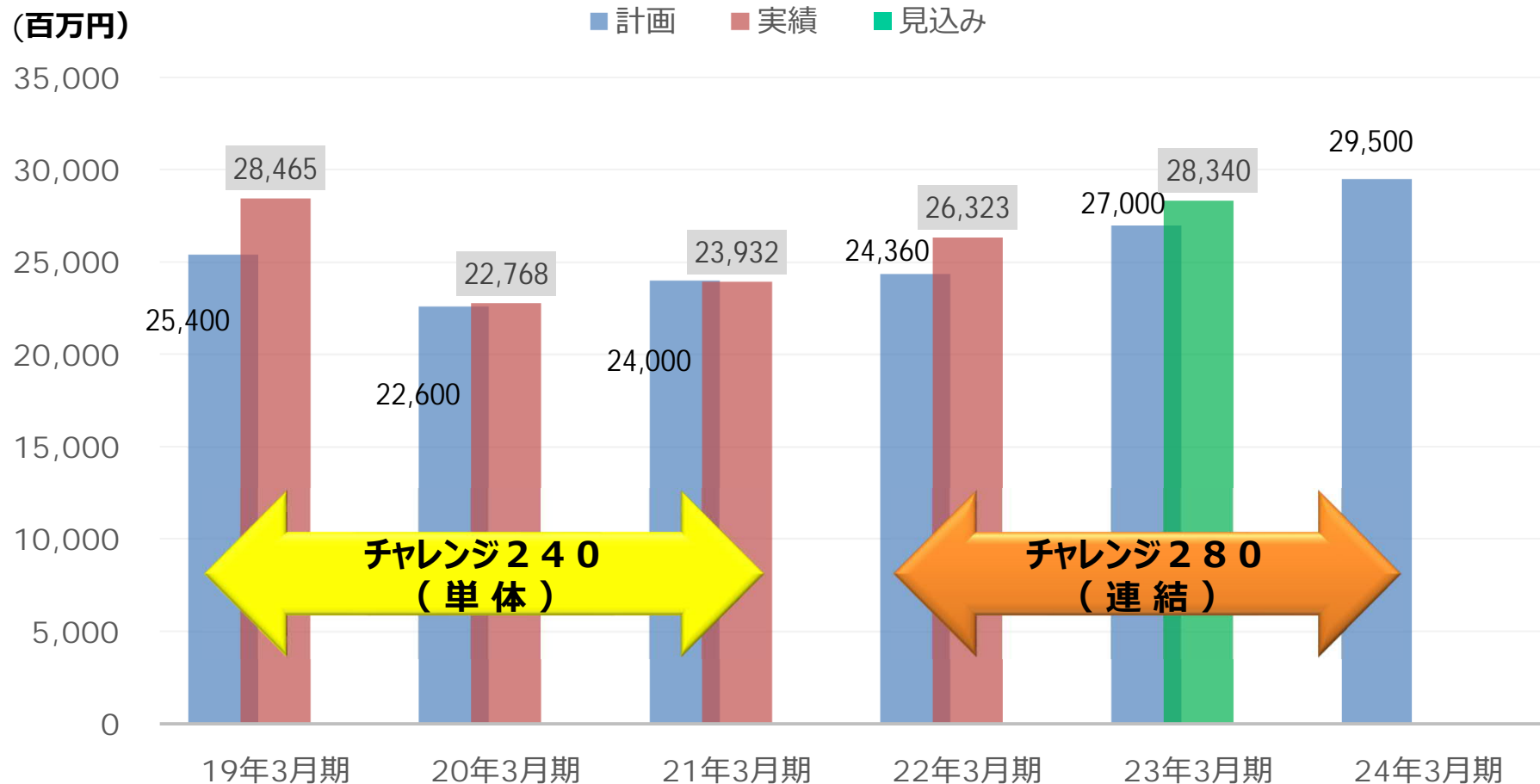
	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 (予定)	2023年3月期 (予想)
中間期	12.50円	14.00円	15.00円	20.00円
期末	15.50円	19.50円	25.00円	20.00円
年間	28.00円	33.50円	40.00円	40.00円

■ 株主優待

株主優待制度を実施しております。3月31日現在の株主名簿に記載された当社株式1単元（100株）以上保有の株主様に当社オリジナルQUOカード1,000円を贈呈いたします。

「チャレンジ280」中期経営計画

売上高（実績推移）



- 中期経営計画『チャレンジ280』では、常時売上高280億円以上を達成する為の確固たる基盤を構築して参ります。
- 『チャレンジ280』初年度は、計画を上回り、今年度も計画を上回る予想でスタートしております。

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。



西部電機株式会社

東証スタンダード・福証（証券コード：6144）

〈お問い合わせ先〉 経営企画室

TEL：092-941-1500

FAX：092-941-1511

URL：<https://www.seibudenki.co.jp/>